

2005年度 第9回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2005年12月13日(火) 午後7時15分～9時15分
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室
出席委員：熊田博喜、坂口和隆、飯塚 睦、山下恭子
<以上4名、敬称略、あいうえお順>
欠席委員：阿部靖子、瀧島喜重、安岡厚子
<以上3名、敬称略、あいうえお順>
事務局：齊藤地域福祉課長、飯塚主事、今林コーディネーター、平田コーディネーター
丸木係長

配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(11月)
資料 2：コーディネート状況等月次報告
資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(12月)
資料 4：第5回市民まつり参加報告書
資料 5：2005年度第8回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
資料 6：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員選出要領
資料 7：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員候補者リスト(案)
資料 8：西東京ボランティア・市民活動センター所有機材等貸出規則(案)
資料 9：他地域の評価に関する資料
資料 10：平成18年度予算編成に伴う留意事項について

委員長：では、運営委員会を開催する。3人が欠席だが会議は成立する。議題としては、予定されていたものの他に市からの委託事業の話もあるようなので、さっそく次第にしたがって始める。

1. 報 告 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

事務局より、資料1、2、3に基づき11月の業務報告を行うとともに、12月の予定を説明する。

委員長：ファーストステップ講座の参加者が1名だったとのことだが、講師は何か言っていなかったか。

事務局：他の講座でも1名だったということで、市民の防犯に対する意識が低いことを嘆いていた。

委員長：東伏見商店会のサロン「にこにこ」はどのような状況か。

事務局：人通りが非常に少ない。ボランティア・市民活動センターが当番で担当した日には、運営懇談会の正副会長とNPO法人の方一人が来た。

他に質問なく、次の報告事項に移る。

(2). 第5回市民まつり参加報告について

事務局より、資料4に基づき、市民まつりで行ったアンケート結果、来場者の状況、収支状況について、および職員間で出された反省点についての報告がある。

- 委員：市民まつりでの印象は、人を集めるのは大変だということを感じた。風船を取り出して渡し始めた時に子どもが集まってきたので、人を集めるためのきっかけの何かが必要だと思った。アンケートをすることが主の目的であったと思うが、他の非常食の試食などの目的が曖昧であった。災害お役立ちカードはもう少し内容のボリュームがあってもよかった。また、アンケートで明らかになったように、ボランティア・市民活動センターの認知度が低い。今後の課題だと思う。
- 委員：非常食の値段やどこで売っているかを事前に調べておくべきであった。ボランティア・市民活動センターがここにあるということを知らせることができたのだろうか。その場で知らせたかった。年配の人が多く、関心のない人も多かったようだ。
- 委員：非常食に関する質問を受けて答えられなかった。また、非常食を買いいたいという人も多く、その場で売ってもよかったのではないか。災害お役立ちカードは、携帯電話が普及している時代にはそぐわないのではないか。工夫が必要だったように思う。絵は、小さな子どもに配り、ボランティア・市民活動センターに関心のある年代層とは思えず、後でその絵をボランティア・市民活動センターに持ってこないのは想像できる。アンケートの結果から関心があるという人をどうやって活動に結びつけるかが課題である。
- 委員長：すでに各委員が意見として出しているが、事前に非常食の情報を得ておくべきであった。その場で売ってもよかった。また、テント内でパワーポイントを使って、3分くらいの講座をやってもよかったのではないか。そうすればボランティア・市民活動センターの理解も広まったと思う。他の取り組みとして車いす、アイマスク体験をしても人は集まる。総体的には大成功だったと思う。

出された意見を2006年度の取り組みにつなげることが確認された。

(3). 災害時のシステムづくり専門委員会の報告について

事務局より、災害時のシステムづくり専門委員会において、ボランティアのつどいに参加すること、取り組みをはじめるとあたって講演会を企画していることの報告がある。

委員長：災害時のシステムづくり専門委員会は3月までの任期となっているがそれをどのように考えるか。

事務局：災害時のシステムづくり専門委員会を2006年度も継続して設置したいと考えている。

委員：立川市にある立川防災館へ行って、疑似体験するのもよいのではないか。

委員長：ボランティアのつどいで消火器を使った訓練をしてもよい。

災害時のシステムづくり専門委員会を2006年度に継続して設置することが承認された。

2. 審 議 事 項

(1). 2005年度第8回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

事務局：資料5の訂正をお願いしたい。配布資料8ページ、審議事項の(1)のなかで、「第6回」を「第7回」に訂正してほしい。

委員長：議事録中の職員の表記の仕方で、職名を入れるように。

他に修正意見無く上記2箇所を修正したものを2005年度第8回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録として承認する。

(2).西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員の選出について

事務局より、資料7に基づき候補者とした理由について説明があった後、選出についての協議を行う。

< 人事に関する審議事項のため、委員の発言記録を省略する >

今回の増員にともなう運営委員会委員の選出について、事務局に一任することが承認された。

(3).西東京ボランティア・市民活動センター所有機材等の貸し出しについて

事務局より、資料8に基づき機材貸し出しのしかたについて提案、説明がある。

委員長：社会福祉協議会が貸し出している機材との関係はどうなるのか。

事務局：現在、社会福祉協議会の管理職会議で協議しているところであるが、その中では貸出機材についてはボランティア・市民活動センターに一本化するという意見が出されている。今後、管理職会議でまとめたうえで、理事会に諮ることになる。したがって、本日の運営委員会では意見を出していただき、それを管理職会議で提案していくことになるので了承してほしい。

委員長：規則の条文に返却場所も明記したほうがよいのではないか。

委員長：プロジェクターは2,500円で貸し出すのでは安い。他では5,000円で貸しているところがある。

事務局：レンタル業者だが、高いところでは30,000円。安いところでも8,000円くらいで貸し出すところが多いようだ。

委員：料金設定はどのくらいの金額で貸し出せば償却できるのかによる。

事務局：他地区のボランティア・市民活動センターや社会福祉協議会を調べたが、有料で貸し出しているところはほとんど無かった。

他に意見無く、西東京ボランティア・市民活動センター所有機材等貸出規則(案)を了承し、本日の意見を踏まえて事務局より社会福祉協議会管理職会議に提案し、理事会に諮ることが確認された。

(4). 事業、運営組織、財政の評価について

事務局より提案理由および資料9について説明がある。

委員：資料で出されている評価シートは、わかりにくい。系統的に作られているので、慣れればわかると思うが、もう少し簡略化したほうが良いと思う。何をどのように評価するのが問題だと思う。

委員：一番目に出ている評価シートが一番わかりやすく、評価しやすいのではないか。

委員長：一番目の評価シートは自己評価であるが、一人で作業するというよりはワークショップ形式で評価するものである。これからの作業として、何をどう評価するのかをきちんと議論してはどうか。

事務局：2006年度の上半期には評価シートを作成して、2007年度事業に反映させたいと考えている。

1月以降のボランティア・市民活動センター運営委員会で継続して協議し、2007年度事業に反映できることを目指して評価についての結論を出すことが確認された。

(5).そ の 他

. 西東京市保健福祉部からの平成18年度予算編成に伴う留意事項について

事務局より、資料10の西東京市保健福祉部から出された「平成18年度予算編成に伴う留意事項について」の文書について報告がある。

. 西東京市職員研修事業について

事務局より、西東京市生活文化課から、協働に関する西東京市職員向けの研修をボランティア・市民活動センターで行わないかとの打診があった旨報告する。

委員長：他の業務との関係を考え、可能であればボランティア・市民活動センターの収益にもなるので受けても良いのではないかと思う。

事務局：今までの受託の仕方では、精算をおこなっているため収益にはならないと考える。再度、西東京市生活文化課に委託方法について確認をする。

委員長：この件については事務局に一任してはどうか。

意見、異議なく西東京市職員向け研修事業の扱いについて事務局に一任することが承認された。

以上をもって、第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の協議を終了し、散会する。